

## 活動報告

団体名	姫路発 中高生のための東日本災害ボランティア
活動名	丸森町の被災された人々へ炊き出し&長野市へ支援物資を届けよう
活動期間	2019/11/05~2020/2/28
活動の成果	<p>■長野市への支援活動について</p> <p>水の不要なシャンプーとボディソープの提供を受け、被災地へお届けしました。次に必要とされる物資が分かるため、直接支援物資の集積所に資材を運びました。初回は災害から2週間後とあって、まだまだ至る所で溢れた水は引いてはいませんでした。伴ってボランティアさんの数も多くみられました。長靴、ゴム手袋、スコップ。そんな姿でした。長野市の職員の方たちとの話の中で、ハンドクリームが不足していることを聞きました。毎日の水洗浄による手荒れが酷いとも聞きました。</p> <p>■丸森町への支援について</p> <p>今までの中でも、最も思い出に残る活動の一つとなりました。会場ボランティアとして参加した、東北開眼塾の生徒たちや相馬ながれやま踊り Junior の会の中学生たち、高校生たちの誰もが人のお役に立っていることを体感して頂けたと感じます。丸森町の人たちの言葉は中高生たちに元気と勇気を運んでくれました。一方、丸森町の皆さまへはシチューや水餃子の温かさ・美味しさはもちろん下拵えや接客係として活動に参加下さった人の温かさまで伝わったことと思います。日を重ねるごとに、人も集まり、明るく楽しい雰囲気が出ました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>長野市へは2回。宮城県丸森町へは全12回。支援活動を実施しました。とりわけ丸森町での炊き出しは私たちも、支援対象である丸森町の方々にとっても楽しみ一杯の活動となりました。温かいものを各家庭の夕食時間に合わせて出すことにしました。山間部の丸森町では午後5時になると辺りは真っ暗ともなり、子供たちが屋外で遊ぶことはできません。当然、家で過ごす時間が長くなります。それだけに、夕食は一日の楽しみのはず、温かい夕食はきっと、喜ばれるに違いないと考えました。特に、温かいシチューや水餃子は大人気となりました。毎回、子供たちの喜びの音が聞こえるようでした。一方、ボランティアとして参加した中高生たちにも意義のある活動となりました。丸森町の皆さんの感謝の気持ちを直接に感じる事が出来たからです。回を重ねるごとに生き生きとした彼らの様子も見る事ができました。</p>

(活動のようす)

